

国語 解答 静岡大学 情報学部 (情報社会学科)

1 現代文

問一 ア 衝撃 イ 築 ウ 誘惑 エ 放棄 オ 絡

問二 事実の持つ深さや豊かさを伝えることで、様々な社会的課題の解決に向けて、議論の場を提供するという役割。(五〇字)

問三 視聴者は偏見であっても自らの感情に訴えるテレビメディアの情報だけに寄り添いがちであり、感情に訴える要素が多いテレビメディアも視聴者の感情に寄り添おうとする誘惑に陥りやすいから。(八八字)

問四 経済格差の拡大によって不公平感が高まり、社会の分断が進行しつつある状況の中で、メディアの受け手は、固有の情報空間の中だけで対話を行い、より積極的に自らの感情にかなったものだけを情報の中から選ぶようになり、そうした情報をより多く提供してくれるメディアだけに接するようになるから。(二二八字)

問五 客観的な事実や真実よりも感情的に共感できる情報だけを選択する傾向が強まり、異質な他者や多様な意見を無視することで社会の分断が広がりつつあるポスト真実の時代を乗り越えるために、ジャーナリズムは多角的な情報を提示していく必要があると筆者は主張している。たしかに筆者が言うようにジャーナリズムのあり方も重要である。しかし、情報を受け止める私たちには客観的な根拠のない情報に惑わされてしまう面があることにも留意すべきである。情報の受け手である私たちが、ジャーナリズムが発信する情報を含め、さまざまな情報を客観的にとらえ、それが真実であるかどうかを見極める力であるリテラシーを鍛えていく必要もあるのではないか。(三〇〇字)

大問（問題冊子に番号なし）

問 1

想定外の芸人のツッコミに反応してボケを繰り返すというように、あらかじめプログラミングされた範囲を超えた人の言葉や動作、立場などに合わせて認識の枠組みを柔軟に変化させ、臨機応変な対応をするという能力。(99 字)

問 2

私は高校に入学してから、学校まで自転車で通学していたが、普段は周囲の風景を楽しんだり、すれ違う人々に挨拶をしたりしてゆっくりと自転車をこいでいた。しかし、ある日前日に夜更かしをしたために朝寝坊をするという想定外のことが起こった。そのときは認識枠を狭めて、周囲の風景や人々には意識を向けず、ひたすら自転車のペダルをこいで始業時間に間に合うことができた。また、ある定期テストの日の朝、前日に夜遅くまで勉強していたことが原因で朝寝坊してしまうことがあった。そのときには認識枠を広げ、自転車で行くことをやめて学校まで最短で行ける交通機関を調べ、それを使って、何とかテストの時間に間に合うことができた。(296 字)

問 3

現在の AI ロボットは、現実世界で無限に生じるさまざまな出来事に対して、人のように認識枠を柔軟に広げたり狭めたりすることで臨機応変に対応するという能力を有していない。そのような「フレーム問題」を解決するためには、現在の AI ロボットのさまざまな問題点を明確に列挙することが重要である。そうすることで、解決に向けて的確な研究を進めることが可能になるはずだ。そして、その解決方法を考えるにあたっては、人の能力についての研究が参考になる。人の認識能力やコミュニケーション能力、AI ロボットには欠けているクリエイティブな能力などについても、脳科学をはじめとする多様な分野において、現在以上に研究を深めていく必要があるのではないだろうか。そのような人が有する諸能力のメカニズムを明らかにし、その成果をロボット開発にも反映させていくことが、AI ロボットにおける「フレーム問題」を解決する糸口になると考えられる。(397 字)